

平和教育の取組事例報告書

報告年月日 令和4年4月27日

都市名・国 埼玉県飯能市・日本

取組の名称	飯能市平和都市宣言記念 ヒロシマ・ナガサキ原爆資料展
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ()
テーマ・目的	飯能市平和都市宣言の制定を記念し、原爆とその被害の実相を伝えることで、恒久平和や核兵器廃絶を訴求することを目的に開催しました。
対象者 (年齢・学年、人数等)	市民ほか
実施場所	飯能市立博物館
実施期間	令和3年7月18日～令和3年9月5日(44日間) ※休館日を除く
<p>取組の概要(授業、イベントはプログラムの次第を、その他(例:コンテスト等)はそのプロセスを、具体的に記入してください。)</p> <p>本市平和都市宣言の制定を記念するとともに、平和を訴求するオリンピック・パラリンピック東京2020大会を応援する「東京2020応援プログラム」として、1人でも多くの方に原爆とその被害の実相を伝えつつ、平和の大切さを訴え、核兵器廃絶の輪を広げていくために広島市・長崎市と共同で原爆に関する資料展を開催しました。</p> <p>本展では、広島平和記念資料館・長崎原爆資料館が収蔵している被爆実物資料やそのレプリカ、被爆者が描いた絵(複製画)そして被爆者と高校生が共同で制作した原爆の絵(原画)など、貴重な資料を展示しました。また、会場内には原爆関連書籍閲覧及びDVD視聴コーナーも設置しより学びを深めることができるようにしました。</p> <p>なお、関連事業として、被爆者による被爆体験証言会等を企画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。</p>	
<p>参加者の反応</p> <p>来場者アンケートでは「貴重な被爆資料を地元で見ることができて良かった」「平和について考えるきっかけとなった」「広島・長崎に実際に行ってみたくなった」「涙を流しながら見た」「引き続きの開催を希望」などの意見が寄せられました。</p>	
<p>成果</p> <p>開催期間中、市内外から7,550人(1日当たり171.6人)の来場者がありました。これは夏期における同館の来場者数としては近年まれに見るものです。また、全国ネットのテレビ放送をはじめ新聞やネットニュースなどでも大きく取り上げられ話題となりました。</p>	
<p>課題</p> <p>本展は広島市・長崎市との協力により大きな成果を収めることができました。今後、本市単独でこの成果をどのように引き継いでいくかが課題です。</p>	
<p>取組で使用した素材について(図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。)</p> <p>被爆実物資料、原爆写真パネルなど(いずれも広島市平和記念資料館・長崎原爆資料館提供)</p>	
<p>上記素材の共有の可否(取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。)</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能(素材を添付してください) <input type="checkbox"/>掲載不可 <input checked="" type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合はメールに添付して提出してください。

